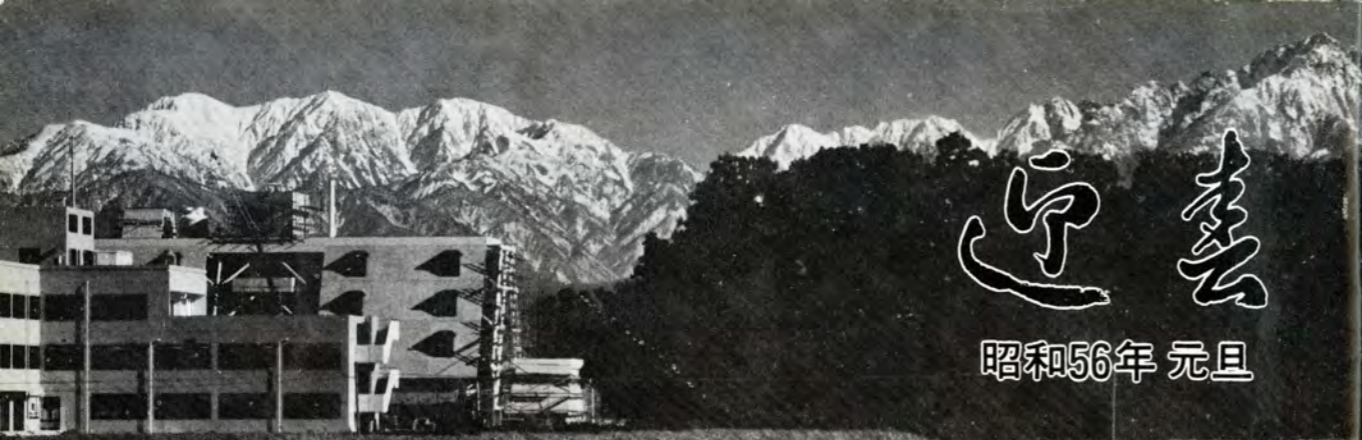


1981/1 No. 144



迎 ぎ

昭和56年 元旦

# 活力ある富山県の幕明け

富山県知事 中 沖 豊

県民のみなさま、あけましておめでとうございます。すがすがしい初春をお元気で迎えになったことと存じます。

日本をとりまく内外の諸情勢は、昨年を引き続き緊迫した様相を呈しております。

私は、この厳しい現実の中で、県民奉仕の立場に立って、計画県政を旨とし、県勢発展のため全力を傾けてまいっている覚悟であります。清潔・公正・県民に向かって開かれた「さわやか県政」を基調とし、「魅力ある郷土づくり」、「活力ある産業づくり」、「明日を拓く人づくり」の三つを政策の柱に、真に活力ある民間活動と相携えて、「活力ある富山県づくり」を進めてまいります。

そのため私は、新春早々「活力ある富山県をつくる総合計画」の策定に着手いたします。策定にあたっては、県民参加を基調に広く衆知を尽くし、斬新な発想を求め、策定の手法、そのプロセス等に十分配慮し、その成果につきましては、県民の方々とともに未来に向かって羽ばたき、希望と期待をつなぐものにしたいたと考えております。

どうか県民のみなさまには、この一年健康で活躍されますようお祈りいたしまして、年頭のごあいさついたします。

写真はとし夏にオープンする健康増進センター(富山市蛸川)

## 東へと伸びる高速道

# 北陸自動車道 滑川～富山間開通

(表紙は開通した滑川インターチェンジ)

北陸自動車道滑川～富山間が昨年十二月十九日開通しました。立山インターチェンジ、流杉パーキングエリアを含む同区間は全長二〇・四\*、昭和五十一年八月に着工してから四年余り、総事業費五百八億円を投じて完成したものです。

同区間が開通したことで、北陸自動車道(新潟～米原間)総延長四七四・五\*のうち、供用延長は滑川～米原間二五四・五\*、新潟～西山間六六・五\*の計三二一\*となり、六八割が完成したことになります。

今後は、朝日～滑川間二七六\*が五十八年度中に、そして、六十年代前半には全線が開通し、北陸自動車道が大動脈として、その役割をいかに発揮する

### 観光や経済の発展交流に期待

滑川～富山間が開通したこと、観光や経済などの面で数多くの効果が期待されています。まず、立山連峰の玄関口、立山町が結ばれたことで、立山観光が一層身近に感じられるよう



こととなります。

滑川～富山間が開通したことで、富山から立山連峰を仰ぎ見ながら東進できるこの区間は、同自動車道の中で最も景観に恵まれた区間の一つといえるでしょう。また、新川地方と近畿・中部

経済圏との直結で、流通の円滑化はもちろん、地域の開発交流にも大きな期待がかけられています。

このように、大都市圏と地方とを短時間で結ぶ高速自動車道の果たす役割は大きく、北陸自動車道の全線開通はもちろん、全国の高速度交通網の早期完成が望まれています。

### 1月号 ● もくじ

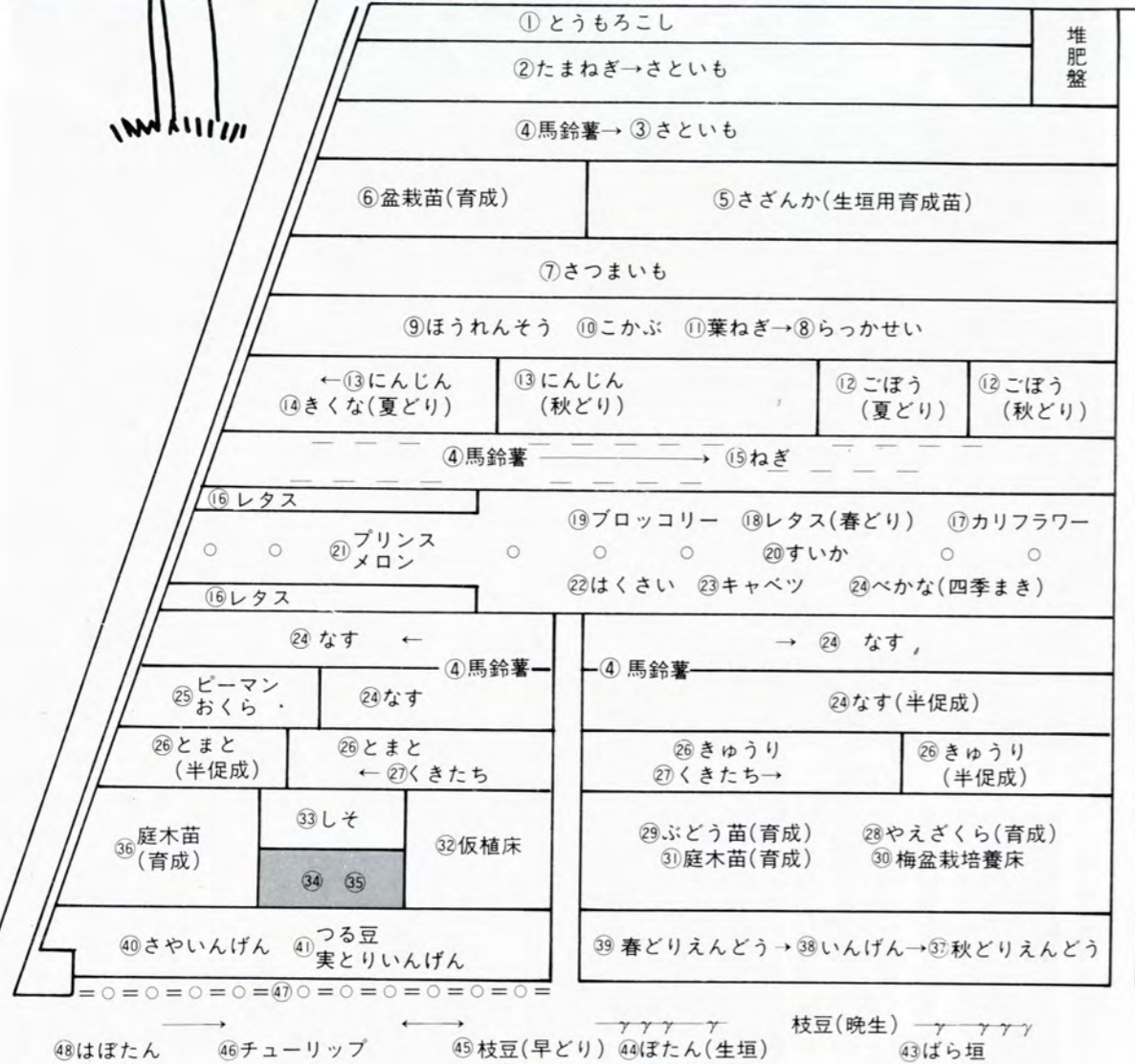
東へと伸びる高速道	表1・2
北陸自動車道滑川～富山間開通	表1・2
活力ある富山県の幕明けにあたって	
富山県知事 中沖 豊	1
これが私たちの生活改善	
大山町桑原グループの活躍	2～6
カゼと脳卒中にご用心	
冬場の健康管理	7～9
この冬、ちょっぴり工夫してみませんか	10～11
市町村民話◎大島町	
大島町小島の石名橋	12～13

相談室◎	14
少年の主張富山県大会から	15～17
成人記念に「はたちの献血」を	18
数百年の伝統にふれませんか	19
かしこい消費者	20～21
トピックス・県政の動き・お知らせ	22～23
家庭の省エネルギーここがポイント	24
県有美術品紹介	表3
この冬も出勤します	表4

# 私たちの 菜園づくり

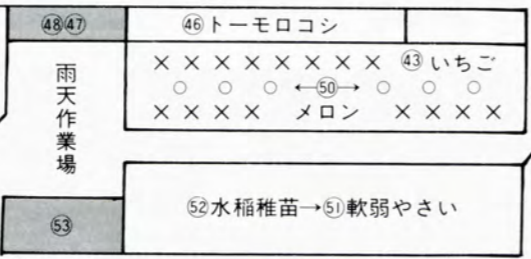
(8アール)

ここにあげた自給菜園は、私たち桑原グループが食生活改善の1つとして行っているものです。



前作→後作  
間作→  
とうもろこし①早生④中生  
たまねぎ(生食用紅・黄)  
レタス⑬夏秋どり  
しそ⑬紅⑭青じそ  
⑮パセリ

④畑わさび  
④菊採芽床  
その後⑦中生甘藍  
③仮植床  
(草花・果実  
はくさい・キャベツ)  
⑤採種たまねぎ  
⑤軟弱やさい  
(夏どりほうれんそう・かいわれ大根・小松な・みつば・セロリー)



# 健康守り心のふるさとづくり



これが私たちの生活改善

大山町桑原グループの活躍

農山漁村では、昔ながらの生活習慣を改善し、時代の変化に応じた生活様式を築こうとするグループ活動がさかんになりひろげられています。

「生活改善実行グループ」と呼ばれるこれらのグループは県内に四百四十三、農山漁家の婦人たちが自主的に、健康づくり、子どもの教育やしつけ、必要な生活・生産技術の習得など、あらゆる生活面での工夫に力を注いでいます。このため、グループの援助者である生活改良普及員は、デモンストレーション(実演)に生活改善の哲学をこめて、普及活動を行っています。

さて、これら数多くのグループの一つとして、二十八年間、こつこつと活動を続けてきた、「大山町桑原グループ」が、昭和五十五年生活改善実行グループ表彰(全国農山漁家生活改善研究会主催)で農蚕園芸局長賞を受賞しました。これを機会に同グループの活躍ぶりを紹介してみましよう。



食生活改善のための料理講習 得意は「のっぺい汁」

## 農業生産の発展は健康から

### 太鼓たたいて生活時間を改善

グループが最初に取り組んだのは田植え作業合図の太鼓たた

きからでした。朝の六時と夕方の六時に太鼓をたたき、これを合図に作業を始めたり終えたりするわけです。この太鼓のおかげで農作業の時間が決まり、疲

### 農民体操で健康管理

農繁期には健康対策として、

労の大幅な軽減に役立ちました。

### グループ員

#### から一言

五十嵐静枝さん

昔は、田植えの時期ともなれば、朝は四時半から晩は七時半ころまで田んぼに出ているのです。嫁ともなると床につくのは毎日夜中で、体をこわす人もたくさんいました。これではいけないと考え、田んぼ仕事の時間をきめるために始めた太鼓たたきがきっかけになって、このグループ活動が起こったわけです。

グループ活動を理解してもらい、姑との交流を深めようと、年一回敬老会を開き、日頃の料理講習の成果を味わってもらいながら、意見交換をしています。

他のむらから「桑原は、むらじゅうがよくまとまっています、うらやましい」といわれますが、コミュニケーションを絶やさないためにも、嫁や子供らに受け継いで欲しいと思っています。



むらのまとまりの良さを象徴するように 会合には笑いが絶えない桑原グループ

### 実態調査で

#### 科学的な目を

グループ員たちは、身の回りの生活や環境の状態、身体の疲れ具合などを互いに把握しようと、生活実態調査を定期的に行っています。この調査を通して最も大切な問題を知り、その対

# 雪と氷に閉ざされる北陸



## カゼと脳卒中にご用心!

—— 冬場の健康管理 ——

毎年この時期になると全国的に流行するのがインフルエンザ。県内では昨冬、婦負郡や下新川郡などを中心に、十四の施設でインフルエンザ(通称ソ連カゼ)が猛威をふるいました。

全国的にみますと、五十四年九月から五十五年三月までに報告されたインフルエンザに類する患者の数(小・中・高などに在籍している人)は百十八万人で、五十三年冬の二十四万人、五十二年冬の三百万人と比べると中程度の流行でした。

また、検出されたウイルス別にみますと、「Aソ連型」と呼ばれるものが一二月、「A香港型」は一三月、そして「B型」が二四月に多くみられます。この冬の流行予測では、五十四年の冬季と同じく、これら三種が入り混じっての流行が考えられています。

インフルエンザウイルスの特徴は、一三日の短い潜伏期間の後で発病し、ウイルスの増殖のピークが発病後二三日目にくることです。この後、ウイルスは減り始めますが、発病後五七日ころまで生き残り、くしゃみや咳などによって他人に感染します。ですから、発病した

### 早めの治療と十分な休養 「たかがカゼ」と甘くみないで

いよいよ冬も本格化。雪に閉ざされ湿気も多い北陸の冬は、健康管理もなかなか難しいといえるでしょう。

毎年この時期になると気になるのはインフルエンザの流行と脳卒中。きょうは、これらの予防を中心に厳しい冬場の健康管理について考えてみましょう。

策を立てるといふ活動方法を身につけ、生活を科学的に見る目を養うことができました。

### 研究と共同購入で 食生活を改善

農繁期は忙しさのあまり、労働の厳しさに応じた食事づくりができないことに注目し、クジラ肉、卵の共同購入をはじめ、共同献立などを行っています。また、自家用卵を得るための鶏

を飼う(八羽養鶏)や家庭菜園(別図)を行うなどグループ総ぐるみで活動しています。

## グループの記録は村の歴史

桑原グループでは結成以来、活動の記録が続いています。これらの多くは黄ばみ、すれて古くなっていますが、牛乳配りや体力づくりなどの写真と共に、この記録はそのままの歴史であり、貴重な評価を受けるとともに、グループ員自身も家庭生

活の記録へと結びつけています。一方、桑原グループのある大庄地域では昔から伝えられた生活技術のつべいや報恩講料理や手まりづくりなどが残っています。したが、グループでは農村の良さを伝えることによって、人々の心のふるさととしてのむらの

暮らしを大切にしようと、小学生を対象に「むらを語る会」や手まりづくりなどを行っています。また、このような婦人グループのまとまりの良さを見習って、生産組合や青年団のまとまりも良く、夏ともなれば集会場前で

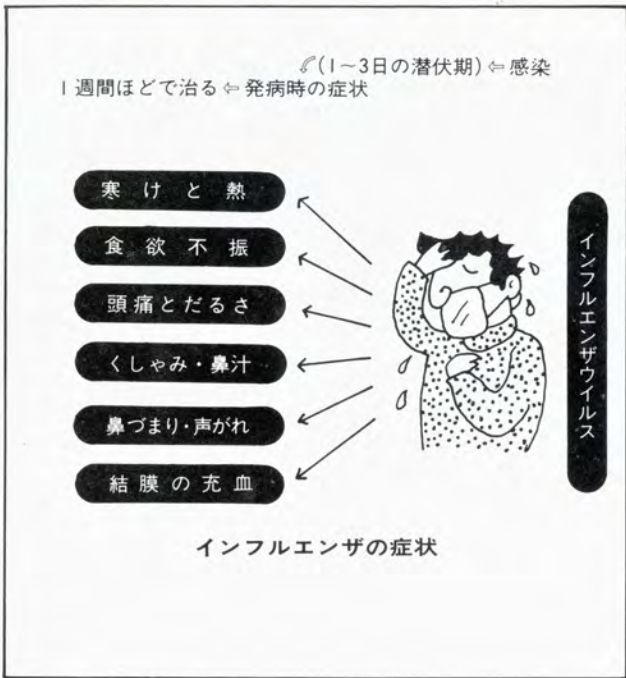
ピヤガーデンを開き、楽しみながらコミュニケーション活動に力を注いでいます。

以上、桑原グループの活動を紹介してきました。

二十八年間、たゆまず前進を続けてきたこの桑原グループなど、生活改善実行グループの活動は、さわやかで住みよい村づくりを目標に、また、地域の諸活動の足がかりとして、今後より一層根づいて行くでしょう。

## 28年間の足跡

年代	課題	活動内容
昭和27~32年	◎合理的な生活の確立 ・働き方の工夫 ・衣生活の改善	・適正な労働時間の啓蒙 ・かや染講習会の開催 ・麦わらふとん作製 ・保存食の講習会の開催 ・保存食の共同加工と活用 ・かまど改善講習会の開催 ・かまど構築実習 ・婦人の生活意識についての話し合いの積み重ね(グループ活動の定例日の設定とグループメンバーの定着)
昭和33~38年	◎地域ぐるみの生活慣習の醸成 ・バランスのとれた食生活の確立 ・楽しいグループ活動をめざす	・無駄、無理をなくする工夫の話し合い ・結婚改善や針歳暮等の廃止の申し合わせ ・姑との交流会を定着する ・卵・酢・食用油の共同購入 ・日常食の講習会 ・保存食の講習会、交換会 ・グループの役割分担と協力活動の話し合い ・よりよい人間関係の講話会 ・読書会の定着
昭和39~49年	◎バランスのとれた食生活の確立 ◎住みよい村づくり ◎高齢者の役割と村のよさの計画的伝承を図る ◎高齢者の生活技術の開発	・緑黄色野菜の種子の共同購入 ・共同ほ場の設定 ・計画栽培の励行 ・共同献立の励行(10日分あて作成) ・強化米の計画購入、配布(2カ月に1回) ・冷凍食品の共同購入、配布(毎週火曜日) ・桑原会館の設立のための計画樹立 ・会館利用計画作成活用 ・会館運営費の積立貯金をする ・花の種子購入、作付をする ・集落共有地及び建造物の清掃奉仕 ・集落内のよさの見なおしを語る会の開催 ・童うたを孫へ教える会の開催 ・薬加工、ふるさと料理講習会の開催 ・おおよま伝承誌づくりの協力 ・しゃくなげ等のさし木増殖を図る ・山野菜の採集と増殖講習会の開催 ・生活技術の伝承講習会
昭和50~51年	◎健康維持増進と生産、生活時間の計画化	・集団検診参加申し合わせ表を各戸に配布 ・部分及び現金支出の記帳講習会開催 ・計画的時間配分表の作成と活用 ・家族の役割分担表の作成活用 ・台所収納設備の相互交換会の開催 ・優良事例の活用、研修会の開催 ・共同献立のみなおしと実用化を図る ・余剰農畜産物の共同加工実習 ・共同購入の他地区との交換会
昭和52~53年	◎住みよい環境づくり ◎生活運営の合理化	・高齢者の技術伝承講習会の開催 ・ブロック焼却炉の活用・話し合い ・生ゴミふたの上手な使い方、話し合い ・グループ活動の交換会 ・校下ぐるみの話し合いを呼びかける ・花の種子苗の交換会の開催 ・親子学級の開催 ・8羽養鶏技術講習会の開催 ・家計簿記帳講習会の開催 ・生活時間表の作成
昭和54年~現在	◎安全な食品の計画調達と生活運営の合理化	・大豆料理交換会 ・自家味噌づくり啓蒙座談会 ・大豆加工センター建立計画運営・話し合いの開催 ・転作物物の共同加工実習 ・緑黄色野菜の計画的栽培 ・生活習慣、生活技術の相互交換会の開催 ・自慢料理、ふるさと料理の展示会の開催 ・長期生活設計樹立講習会の開催 ・生活設計樹立交換研究会の開催



から早めに治療し、十分に休養をとることは、自分ばかりでなく周囲の人たちの健康にもつながるわけです。

インフルエンザの治療には、今のところこれといった薬がなく、症状の悪化・進行を防ぐには安静、保温、栄養の三原則がカギになります。特にお年寄りや、病弱の人などは肺炎などを起こしやすいので、早目に医者

## 暖房と栄養を工夫して 脳卒中を防ぐには

インフルエンザの流行と並んで、冬場に心配されるのが脳卒

インフルエンザ様疾患発生状況

年	施設数	患者数(人)	ウィルス分離状況
51	富山	149	28,224 B型
	全国	23,034	2,646,454 B型
52	富山	88	香港カゼ・ソ連カゼ
	全国	21,765	香港カゼ・ソ連カゼ
53	富山	3	ソ連カゼ
	全国	2,641	ソ連カゼ(42県) B型(3県)
54	富山	45	ソ連カゼ
	全国	8,180	ソ連カゼ(14県) 香港カゼ(19県) B型(5県)

中です。脳卒中をはじめ心臓病、老衰などは冬期間の死亡が多くなっています。

その原因についてはいろいろ考えられますが、暖房の方法に一番問題があるのではないかとされています。それというのも日本は湿気が多く、風通しを

よくして、いかに涼しく夏を過ごすかという点からのみ家のつくりを考え、寒波に対する関心が薄かったためといえるでしょう。

脳卒中の死亡率の高い東北や北陸地方の農村でも、いろいろ、火鉢からストーブによる全体暖

房に変わりつつあります。しかし、古い家の構造から寝室、トイレ、風呂場の暖房が省略されているのは、これらが脳卒中などの多発する場所だけに問題が残ります。この冬は大雪の予報もありますので、お年寄りや病人の方々の保温には十分注意してください。

日本で最も寒い北海道では、寒さに直接影響される脳卒中、肺炎などがさほど多くありません。これは、厳しい寒さのため家屋全体の暖房が普及していることが原因としてあげられますが、このほか食生活も大きな要因になっています。

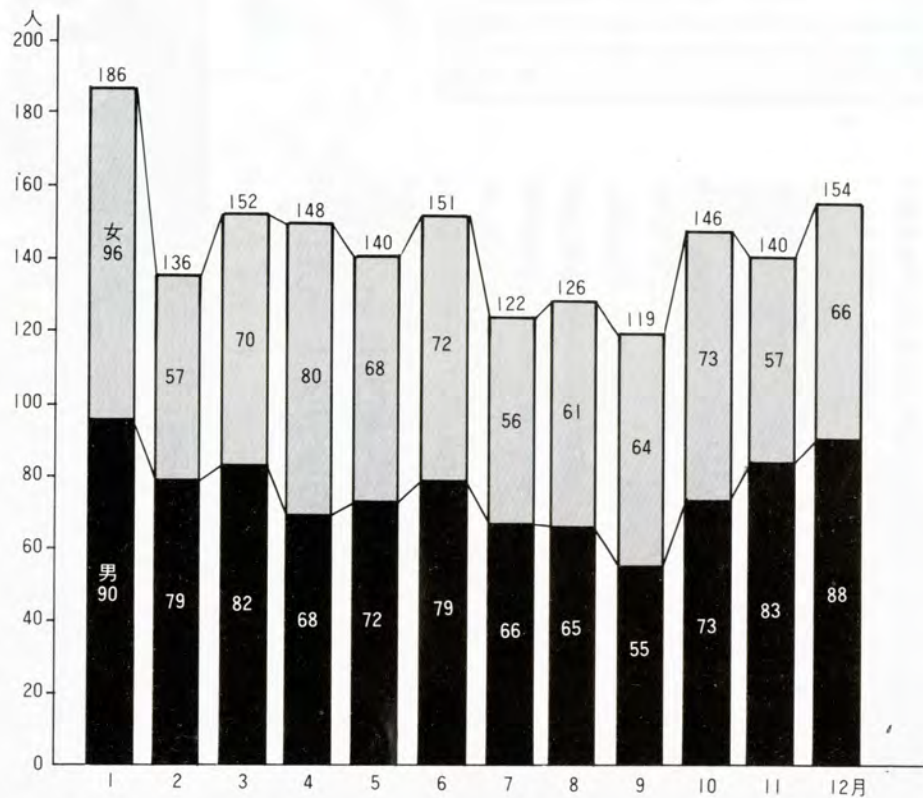
北海道では酪農が盛んで、農家も牛乳や乳製品をよく利用しており、そのうえ北洋漁業で豊富にとれるサケ、タラなどの動物性タンパクや脂肪をよくとっているためと思われます。

また、寒さによるストレスを切り抜けるには、ビタミンCが役立つことがわかってきました。雪国では野菜不足からビタミンC不足が起こりやすいので注意

してください。寒さが厳しくなると部屋にとじこもり、運動不足になりがちですが、冬が長ければ長いほど、寒さに負けず大

いに身体を動かし、冬を乗り切る体力を養うことも大切です。

脳血管疾患による死亡者数



## 行政書士法を一部改正

55年9月1日施行

行政書士法(昭和二十六年三月施行)が一部改正されました。

行政書士は、他の法律に特に定められているもののほか行政書士法で、他人の依頼を受け、報酬を得て国や県・市町村の役所に提出する書類やそのほか権利義務、事実証明に関する書類を作成することが業務とされています。

今度の行政書士法の改正では、これまでの業務に加えて官公署に提出する書類の提出・手続を代行したり、書類の作成について相談に応じることなどできるようになったわけ

です。また、他の法律で特に定められている場合以外は、業と

して他人の依頼を受け、報酬を得て官公署に提出する書類などを作成できないことになっていますが、今回の改正では、これに違反した場合の罰則も重くなっています。

\*「業として」とは「長期にわたって反復継続して」を意味しています。

行政書士になるには、県が毎年行っている試験に合格するなど、法律に定められた資格をとって、富山県行政書士会の名簿に登録を受けなければなりません。行政書士試験などについて詳しいことは、

県庁総務課

☎富山31-4111(内線336)

へお問い合わせください。

この冬「ちよび」ぴり工夫してみませんか

いよいよ、北陸に住む私たちにとって宿命ともいえる“雪の季節”となりました。雪は、ただ単に寒さを増すばかりではなく、交通、消費生活などいろんな方面に影響を及ぼします。

この冬、ちょっとした生活の工夫、心がけて、快適に過ごしてみたいかがてしよう。

灯油＝1㍒で534円  
1度C下げれば4千円の得

暖房の主役は何といっても灯油。県が五十四年度に行った調査では、県内の年間一世帯当りの暖房用灯油の消費量は、平均五三四・四㍒となっていて、暖房の方法を少し工夫して灯油の消費量を減らせば、省エネルギーになるばかりでなく、家計にとっては大助かりということになります。

工夫の第一は室温を十八度Cに調節することです。暖房の最適温度は、部屋の用途によっても異なりますが(表1)、居間では十八度Cを目安に調節しましょう。例えば、室温を十九度か

表1. 家庭の適温の例

居間・食堂	16℃～20℃
浴室・便所	18℃～20℃
台所	15℃～17℃
寝室	12℃～14℃
廊下・玄関	10℃～15℃

ら十八度に下げた場合、快適さにはそれほど差はありませんが、暖房費は約一割(一冬で約四千元)も節約できます。

工夫の第二は、部屋の用途や大きさ、使う人に合わせて暖房器具を選ぶことです。電気こた



つは局部的な暖房方法としてはとても優れた器具です。人の出入りの多い部屋、短時間の暖房には最適です。使うときは厚手のこたつマットや木綿のこたつ掛けを利用し、こまめに温度調節をしましょう。こたつとん

の綿は木綿とアクリルを比べた場合、木綿の方が二〇割も節電になるといわれています。また、石油ストーブは反射型と対流型を使い分け、燃焼部分や反射板をみがいて、効率よく使いましょう。

●カーテン・壁張り・カーペット使用の有無による暖房用電力節約率

	カーテン、壁張り、カーペットのない場合	窓に厚手と薄手のカーテンを二重につるし、床にカーペットを敷き、壁にクロスを張った場合	左の条件にさらに壁面にもカーテンを全面に吊した場合
暖房電力	5,512 kWh	4,013 kWh	3,688 kWh
節約率	0	27.7%	32.7%

備考：日本化学繊維協会調べによる

工夫の第三は、暖めた室内の熱を外に逃がさないようにすることです。窓には厚手のカーテン、床にはカーペット、窓やドアに目張りをするなど、熱を逃がさないようにしましょう。

このほか電気毛布を使うときには、就寝三十分前に「強」にスイッチを入れ、就寝時には「弱」にして使えば、寝はじめの寒さも防げ、省エネにもつながります。

冬野菜は貯蔵して  
ハウスものより露地ものを

雪国である富山県は、冬用の生鮮野菜類のほとんどを、愛知県や岐阜県などの県外に依存しています。今では除雪も十分に

ように冬野菜が入って来ないという事はなくなりました。しかし、雪国に住む私たちにとっては、大根、ごぼう、にんじん、馬鈴しょ、たまねぎ、白菜など

貯蔵可能な野菜を安く出回っている時期に貯蔵し、大雪になっても心配なく使えるようにすることも「生活の知恵」ではないでしょうか。

ようになりまし。これらは石油を大量に使って栽培されているため(表2)割高になっています。必要な時に利用されるのも結構ですが、ふだんは旬(しゅん)のものを上手に使うよう心がけましょう。

表2. エネルギー多消費農産物(kg当り)

農産物	石油投入量
①促成いちご	651 cc
②温室メロン	631
③促成ピーマン	631
④促成きゅうり	395
⑤促成トマト	362
⑥青さやいんげん	297
⑦青さやえんどう	297
⑧いんげんまめ	277
⑨促成なす	257
⑩稲	253

(注)石油(原油)1㍒当たりの発熱量は9,800\*。カロリーで算出



交通確保の心がけ

「雪国富山」とはいつても、最近では除雪体制も整備され、雪による交通障害も少なくなっています。

しかし、入りくんだ各家庭の付近の道までは除雪機械も入れません。救急車や消防車、灯油

やLPGガスの配達車が通れるよう、各自でおこたりにくく除雪しましょう。また、子どもたちの大切な通学路も、付近のみならずが協力し合って除雪してあげたいものです。



# 小島の石名橋

ぶん・故湊 吉春(元・大島町教育委員)  
え・橋本忠彦(氷・西部中学校教諭)

(不転載)

●小さな子に読んであげてください。

小島部落は、むかし大島町字籠屋敷かごやまというところが中心になっていたのですが、時代の移りかわりとともに人も家も増えて、いまの国道八号線沿いを中心にした大部落おほ部落になりました。

そこで、「籠屋敷にあつた地蔵尊だけを置き去りにしてはもつたない」というので、新部落へお移しすることに相談がまとまりました。

さて、地蔵尊を新部落へ運ぼうとするところ、とても重くて五人や六人の力では動かせません。大勢の力でどうにかお運びしました。

ところがある夜、村人の夢に、「この地蔵尊はもとの山へ

帰りたいのだ」

とお告げがありました。そこで村人が相談して再びもとのところへお移しすることになりましたが、不思議なことに大へん軽くて、数人の村人で楽々とお運びすることができたそうです。

それからは、地蔵盆のときにだけいまの部落へ運び迎えてお祭りしましたが、いつても運んでくる時は大へん重くて、もとのところへおかえしするときは大へん軽いので、不思議

なお地蔵様だと言われていました。

その地蔵尊が、いつの間にか倒れて小川の橋になっていました。それに気づいた村人もつたないと思つて起こしておいだすと、次の日もまた、だれがしたでもないのに倒れて橋になっていました。なん度起こしても、また、いつの間にか倒れているのです。

ある夜、村人の夢の中に地蔵尊が現われて、「私は橋になって、通る人たちの役に立ち

たいのだから、起さずそのままにしておいてくれるように。決して心配してくれるな」とのお告げがありました。

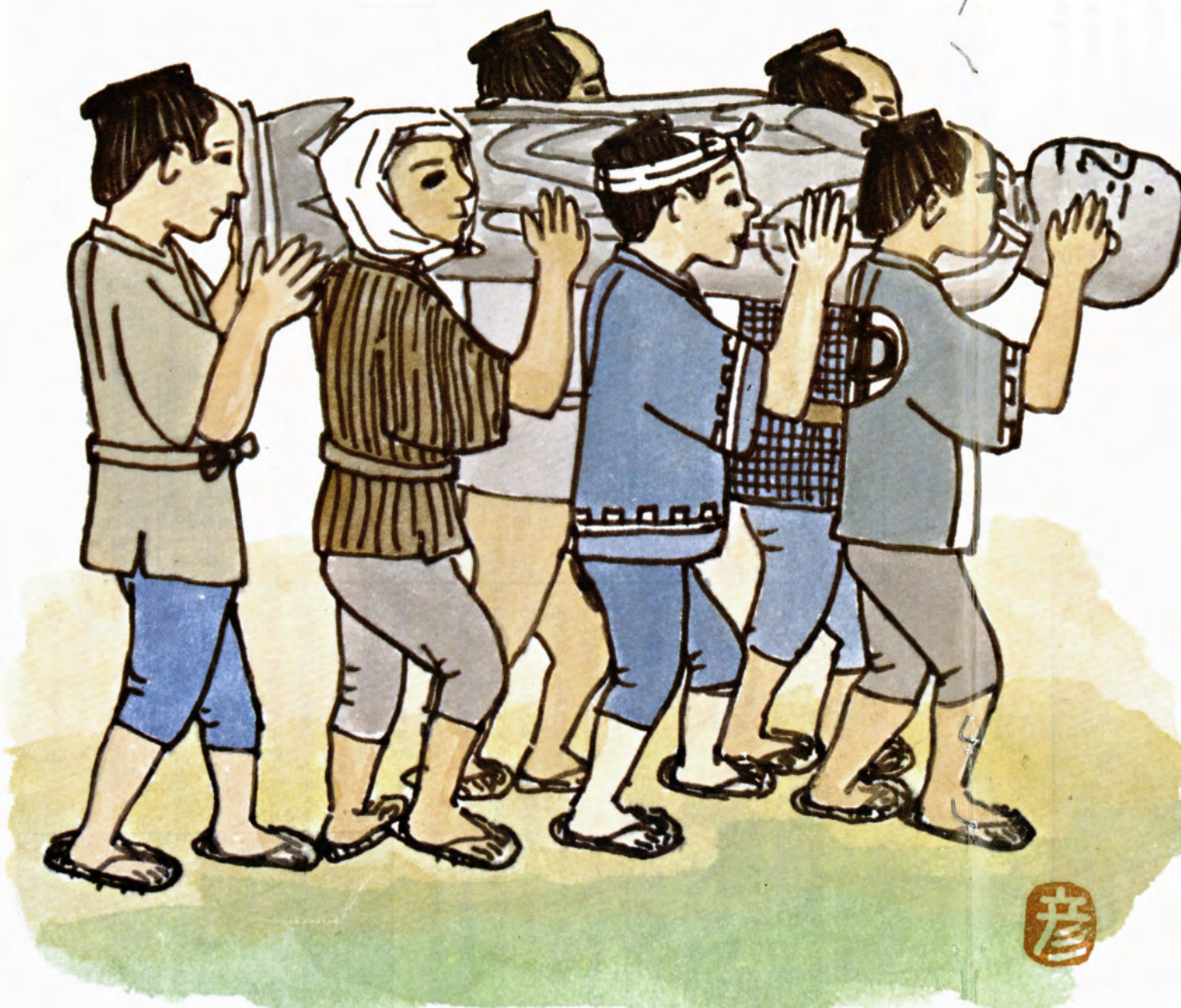
それからは地蔵尊を足で踏むのはもつたないことだが、夢のお告げに従つてそのままにしておくことにしました。

この地蔵橋は「石名橋」と言われ、また「橋地蔵」とも呼ばれ、へ人に踏まれて人を済度やすどしてくださる、ありがたいお地蔵さまとして尊敬されています。

かいせつ

この「石名橋」は、はじめ大島町字小島小字籠屋敷の草島往来にかかつていたのですが、土地改良のため同じ用排水路の下流約三十メートルの堂口の農道に移され、部落民の畑や墓地への通路にかけられて、衆生済度に役立ち喜ばれています。

この民話を寄せていただいた湊吉春さんは、昨年七月逝去されました。ここに、謹んで哀悼の意を表するものであります。



彦



# 第2回 少年の主張



富山県大会で発表する清水貴史君

## 少年の主張——県内初の全国代表 「文化財保護」を訴える

富山市 清水貴史君

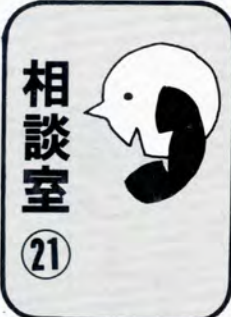
昨年の九月七日、今回で二回目を迎えた「少年の主張富山県大会」が行われました。

この大会は、県下の中学生たちが、郷土や学校生活、友人などを通じて日頃みたり感じたり考えていることを発表していただくものです。

代表に選ばれた十三名は、学友、先生、家族が見守る中、それぞれが中学生の立場からとらえた郷土への願い、人生を深くみつめたもの、親子のあり方など、はじけるような若い心でとらえたすばらしい主張を行いました。

審査の結果、富山市立新庄中学校二年生、清水貴史君が最優秀賞に輝き、中央選考委員会の審査を見事にパスし、中部・北陸・近畿ブロックの代表として、少年の主張全国大会（十一月二十四日）に出場しました。

この大会で「青少年育成国民会議会長賞」を受賞した清水君の作品を次のページに紹介しました。



### 騒音公害

問 私は住宅地域に住んでいるのですが、近くの自動車修理工場の騒音や振動がうるさくて困っています。町内会の代表が音を小さくし、夜おそくまで仕事をしないよう頼んだのですが、聞き入れてくれません。何方規制する方法はないですか。

回答 あなたの例のような場合には「うるささの程度」によって騒音規制法や振動規制法、または県公害防止条例に基づいて市町村や県が工場に対して塀や防音壁の設置、作業時間の短縮などの改善対策を講じるよう指導できることになっています。

規制基準  
うるささの程度ですが、県で

#### 騒音に係る規制基準（工場の敷地境界における許容限度）

区域の区分	左記の区分に対応する規制基準（単位：ホン）		
	昼間 （午前8時～午後7時まで）	朝夕（午前6時～8時まで及び午後7時～10時まで）	夜間 （午後10時～翌日午前6時まで）
第1種区域 （都市計画の第1種住専地域）	45	40	40
第2種区域 （都市計画の第2種住専、住居地域）	55	45	40
第3種区域 （都市計画の商業、準工業地域）	65	60	50
第4種区域 （都市計画の工業地域）	70	65	63
その他の区域	60	55	50

#### 振動に係る規制基準（工場の敷地境界における許容限度）

区域の区分	左記の区分に対応する時間の区分ごとの規制基準（単位：デシベル）	
	昼間 （午前8時～午後7時まで）	夜間 （午後7時～翌日の午前8時まで）
第1種区域 （都市計画の住専、住居地域）	60	55
第2種区域(1) （都市計画の商業、準工業地域）	65	60
第2種区域(2) （都市計画の工業地域）	70	65

は、住居が集合している地域、病院、学校の周辺など、必要な地域を指定して騒音、振動などの規制基準を定めています。（別表）。例えば、あなたの地域（別表の第2種区域）の場合、工場の昼間の規制基準値は五十五ホンで、これは、静かな事務所程度の会話の防害にならない程度、夜間は四十ホンで静かな住宅程度です。

著しく大きな騒音や振動を出すプレス、ノコ盤、コンプレッサーなど特定の施設に関する届け出の受理や改善勧告などは、富山・高岡・新湊・魚津・氷見・砺波の各市、婦中・小杉・大門・大島の各町ではそれぞれの役所、役場で、その他の市町村については県が行っています。

公害苦情相談員制度  
騒音や振動による公害は悪臭とともに「感覚公害」といわれています。この感覚公害は電話が聞きとりにくく

#### 騒音の大きさの例

110ホン	自動車の警笛(前方2m)	60ホン	静かな乗用車
100ホン	リベット打ち	50ホン	普通の会話
90ホン	電車が通るときのガード下	40ホン	静かな事務所
80ホン	大声による独唱	30ホン	市内の深夜
70ホン	騒々しい工場の中	20ホン	図書館
60ホン	地下鉄の車内	10ホン	郊外の深夜
50ホン	国電の車内	5ホン	ささやき声
40ホン	電話のベル	2ホン	木の葉のふれ合う音
30ホン	騒々しい街頭	1ホン	置時計の秒針の音

い、読書や睡眠の防害になるなど、いろいろな身近な公害として、全国的にも苦情の多い公害です。

このような公害の苦情・相談に応じるため、公害苦情相談員が県や人口十万人以上の市におかれています。感覚公害などの具体的なことは、この相談員にご相談なさるとよいでしょう。また、市町村や県の公害担当課に相談されれば、必要に応じて騒音や振動の程度を測定し、それに基づいて措置を講じます。

# 郷土のため、獅子舞の保存

富山市立新庄中学校  
二年 清水 貴史

「そりやっ／＼びーびろび、びーびろびびろびーろび、そいや／＼」四月の春風そよぐある一日、神社にこだまする笛、太鼓、歓声のうず、物売りの売り言葉、それが私の住む、富山市の郊外、藤ノ木の春祭りです。なんと、いつも当日の呼び物は、獅子舞、これなのです。踊り狂う獅子とあてやかな衣装を身にまとい、踊りあう四人の獅子打たち、つい昨年まで、この獅子打に入り、夢中になって踊り、舞っていた時、今もまぶたに焼きついて離れないあの姿でした。歴史は浅いとはいえ、明治の昔から続いたきた神社への奉納の舞、それがこの獅子舞なのです。



この舞との最初の出合いは、小学二年生の時でした。村から選ばれて、三人の子供が獅子打をやることになりました。その中の一人に私が選ばれたのです。その時は、ただカッコエエナ、と思っていたことを記憶しています。人前に出て、舞を奉納するということは、とてもうれしかったのですが、小学五年までの私は、獅子舞はいやでした。そのいやな理由の一つ、それは、遊べないことです。舞の最中でも店でおもしろい物を買っている友達姿を見ると、「みんないいな。なんで僕だけ遊べんのかな」と考え、早く終わって、店へ飛んでいきたい気持ちでいっぱいでした。

二つ目は、獅子打は化粧をするのですが、踊っている私たちのところが、小学五年からの私は、それまでと考え方が変わってきました。獅子舞に対して、誇りを感じてきたのです。それは、「こころへんでもやっていない舞を、僕がやる、明治の昔から伝わってきたこの舞を、この手で受け継いでいるじゃないか」ということを自覚したからです。小学六年の時、先生が、大人になってやりたい職業は、と聞かれました。私は、「地域活動、文化財の保存関係の仕事です」。

### 貴史くんの横顔

清水さんご一家

明朗快活な彼は学校でも人気者。「小学校一年のときには、各クラスをまわって自作落語を披露していた」(母・浩子さん)という。

文科系を志望する貴史くんは国語、社会が得意、他の科目は余り好まない。「いまのうちは全科目を熱心にやってみて欲しい」と勲さんが父として注文をつける場所である。

貴史くんの将来手がけてみたいのは文化財の保護だが、職業はローカル局のアナウンサーを選び、「生まれ、育った郷土富山に根をはって生きたい」と、夢は大きくふくらんでいる。

顔をみて、見も知らぬおばさん方や、女学生が、ケラケラと笑うということでした。真剣に、

藤ノ木に明治の昔より伝わる獅子舞(父・勲さん撮影)



ところが、小学五年からの私は、それまでと考え方が変わってきました。獅子舞に対して、誇りを感じてきたのです。それは、「こころへんでもやっていない舞を、僕がやる、明治の昔から伝わってきたこの舞を、この手で受け継いでいるじゃないか」ということを自覚したからです。小学六年の時、先生が、大人になってやりたい職業は、と聞かれました。私は、「地域活動、文化財の保存関係の仕事です」。

これしかないという気持ちで言いました。前にも言ったように、藤ノ木周辺は、新興住宅地です。だから、それだけたくさんの方が獅子舞を見てくれるということになります。しかし、興味本位だけで見ることはやめてほしいのです。藤ノ木に前から定住してきた人々が、土台を築き、発展させ、ここまで伝えてきたこの舞を、ただの年中行事では終わらせたくないのです。郷土を愛し、郷土のためににかやろうと思う人なら、まず身近な地域

活動に協力してほしいのです。そして、そこから、新しい人間関係や、互いの心と心のふれあいが生み出されてくるのではないのでしょうか。それが、郷土のために努力した成果として、表われてくれるのではないのでしょうか。

私は、中学一年生をもって、獅子打の役を終わりました。今、二年前に入った後輩たち四人が、一生懸命がんばっています。もう少しやりたかった気もしますが、学業のこともあり、仕方ありません。でも、このように、小学二年から中学一年まで、すばらしい経験をしたことを、私はとてもうれしく思っています。

大都会で生まれ育った人で、地方に第二の故郷を求め人がいます。その点、私は、この富山県というすばらしい郷土を持っていることに、喜びを感じています。だから、郷土のためにやりたいこと、私にとってそれは、文化財の保存にあてはまります。

## 少年の主張富山県大会参加者

最優秀賞	郷土のため、獅子舞の保存
優秀賞	親切を実行に
優秀賞	スポーツを通じて得たもの
優秀賞	小さな勇氣
優秀賞	生きること
優秀賞	すべての力を出しきる時
優秀賞	そろばんの練習から得たもの
優秀賞	思いやりの言葉
優秀賞	最近思うこと — 団結 —
優秀賞	親子の会話
優秀賞	美しい郷土を守りたい
優秀賞	今、学校で考えること
優秀賞	生きることの喜び

富山市立新庄中学校	二年	清水 貴史
富山市立呉羽中学校	一年	庄司 孝之
富山市立堀川中学校	一年	中田 佳子
富山市立奥田中学校	二年	本田 淑子
富山市立岩瀬中学校	二年	小川 真理子
富山市立立岩中学校	二年	佐藤 純一
富山市立立高陵中学校	二年	堂上 弘美
富山市立立野中学校	二年	二村 敏之
富山市立立高陵中学校	三年	岡本 小百合
富山市立立高陵中学校	三年	中本 敏之
富山市立立高陵中学校	三年	沢本 小百合
富山市立立高陵中学校	三年	北島 教伸
富山市立立高陵中学校	三年	田中 美穂



井波瑞泉寺

# 数百年の伝統に ふれませんか

## 県内の主な文化財

### <建造物>

名称	所在地
気多神社本殿	高・伏木一ノ宮
瑞竜寺(仏殿・法堂・総門)	高・関本町35
武田家住宅	高・太田4258
護国八幡宮	小・埴生1991
雄山神社前立社壇本殿	中・立山町岩峯寺
旧嶋家住宅	中・立山町芦峯寺古屋敷37
村上家住宅	東・平村上梨725
白山宮本殿	東・平村上梨
羽馬家住宅	東・平村田向254
瀬家住宅	東・上平村西赤尾857の1
佐伯家住宅	西・福岡町養島495

### <史跡>

名称	所在地
桜谷古墳	高・太田
朝日貝塚	高・朝日ヶ丘525
大境洞窟住居跡	水・大境字駒見196
不動堂遺跡	下・朝日町不動堂
しょうべのま遺跡	下・入善町入膳
大岩日石寺石仏	中・上市町大岩
王塚古墳	婦・婦中町長沢
串田新遺跡	射・大門町串田
越中五箇山相倉集落	東・平村相倉
越中五箇山菅沼集落	東・上平村菅沼
高瀬遺跡	東・井波町高瀬

さて、このように多くの人々の協力で保存のための努力がはらわれている文化財ですが、私たちの時代を素通りさせてしまつては、これほどもつたないことはありません。

現在、県内には国、県指定の文化財として社寺、民家などの

## 後世にのこすだけでは… もっと活用したい文化財

建造物が十九件、絵画、彫刻などが七十一件あります。(別表)

文化財防火デーを機会に、身近にある文化財を訪れ、数百年さかのぼる文化に接し、歴史上の人物と対話してみたいかがでしょう。

んが協力して防火訓練などを行

うことにしています。文化財を観光するときの喫煙など、ちよつとしたことに注意して、貴重な文化遺産を後世に伝えたいものです。

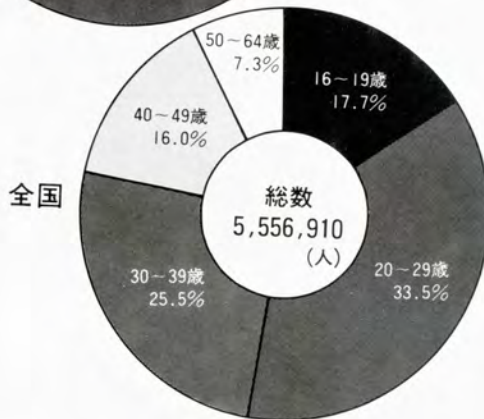
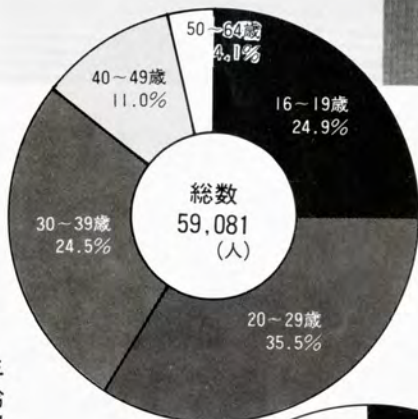
## 1月26日は文化財防火デー

一月二十六日は文化財防火デーです。

三十二年前のこの日、奈良法隆寺金堂の壁画が焼け、私たちは大切な文化遺産を失いました。文化財防火デーは、二度とこの

ようなことのないようにと設けられたもので、大切な文化財を火災などから守るため、全国でもこの日を中心、自衛消防隊や消防署、地域住民のみな

昨年砺波市で行われた成人式



ことし、はれて成人式を迎えられるみなさん、おめでとうございませう。

一月から三月にかけて、民間放送を通じて国・県・日本赤十字社が協力して、「はたちの献血」

を呼びかけています。これは、成人式を迎えた若いみなさんに、「愛の記念献血」をお願いし、献血の大切さを理解していただくために行っているものです。

## 成人記念に「はたちの献血」を

県内の献血者数は、毎年増加の一端をたどって、年間六万人をこえるようになり、昨年十月には延五十万人を数えました。

ことに、本県の献血は、三十代以下で、六〇・四割、三十代を含めると八五割を占め、県民の生命は、若い世代によって支られているといえ、まことに心強いかぎりです。

しかし、近年、医学・医療の進歩により、血液を成分別に分けて、医療のさまざまな分野で使用できるようになってきたため、血液の需要も年を追うごとに種類・量ともに増えてきています。このような血液需要に対処するため、足場の悪い冬期といえども安定した血液を確保しなければなりません。

若いみなさん、「はたちの献血」をして身心ともに健康で、大人の仲間入りをしてください。



11月16日 ▶ 12月15日

竣工なった美術館内を巡回する中沖知事



### 11月21日

#### 美と創造の場が完成 — 県立近代美術館 —

富山県立近代美術館の完成式が午前10時から富山市西中野で行われ、中沖知事に関係者約100名が出席しました。

席上、中沖知事は「当美術館は、創造の可能性を求める作家と、県民に開かれた生涯学習の場として、21世紀の明るい幕明けを可能にするものです」と式辞を述べました。

同美術館は54年7月に着工し、総工費約28億5千万円を投入して完成したもので、400点以上の作品を収蔵して、ことし7月に開館を迎える予定です。

### 11月26日

#### ママが一番 / 省エネ実行調査

県生活環境部がまとめたところによりますと、昨年夏に設けた「省エネルギー実践パイロットファミリー」では、省エネルギーを最も実践しているのは母親、省エネが最もできなかったのはテレビであることがわかりました。

省エネチェックがよくできたのは子どもは水道、冷房、文房具などで、家族全体では冷蔵庫、ふろ、マイカーなどとなっています。

同パイロットファミリーは、省エネチェックカレンダーを配布したうちの5校5学級143人の家庭に対して夏休みから9月末にかけて省エネの実践、記録を委嘱したものです。

### 11月27日

#### 八尾中核団地が起工

富山八尾中核工業団地の起工式が建設現場の八尾町保内地区水谷で行われ、吉田地域振興整備公団総裁、中沖知事、杉林八尾町長の手でクワ入れが行われました。

同工業団地は45ヘクタール、自然をいかした公園工業団地として造成するもので、分譲は58年2月の予定です。



八尾中核工業団地の起工式でクワ入れを行う中沖知事(右)と杉林八尾町長

### 11月27日

#### 婦人の県内行動計画は 60年実施へ

この日「婦人問題懇話会」の第2回目の会合が開かれ、婦人のための県内行動計画の骨子案が検討されました。

同案は、①男女平等を基本にした社会参加の促進、②男女平等観にたった婦人の雇用・労働条件の改善、③婦人の自覚に基づく生涯教育の推進、④婦人の健康の増進と母性の保護、⑤婦人の老後等の生活の安定と福祉の向上——の5項目からなっています。

出席した14人の委員からは活発な意見が出され、今月末の第3回会合までに成案し、実施目標を昭和60年とすることが決まりました。

### 1月街頭献血日程

月日(曜)	場 所	時 間	月日(曜)	場 所	時 間
1/7 (木)	高岡駅前	10:00~15:30	1/17 (土)	富山駅前	10:00~16:00
8 (木)	富山駅前	10:00~16:00	17 (土)	電鉄桜井駅前	10:00~15:30
10 (土)	富山駅前	10:00~16:00	24 (土)	富山駅前	10:00~16:00
10 (土)	高岡駅前	10:00~15:30	24 (土)	高岡駅前	10:00~15:30
11 (日)	富山西武アパート前	10:00~16:00	25 (日)	高岡駅前	10:00~15:30
13 (火)	小矢部市役所前	10:00~15:30	31 (土)	富山駅前	10:00~16:00
15 (木)	富山西武アパート前	10:00~16:00	31 (土)	高岡駅前	10:00~15:30
15 (木)	高岡駅前	10:00~15:30			

### 12月1日

#### 利賀に少年自然の家完成

県立利賀少年自然の家(利賀村上百瀬)の完成式が行われ、栗山県副知事、婦人会関係者ら約200人が参加しました。

同施設は秘境五箇山の大自然と歴史、豊かな伝統文化を学習教材とする小中学生向けの宿泊学習施設で、学校行事として利用する場合、宿泊料100円、3食860円で利用できます。

なお、県婦人会が正面広場に建立した「どの子にも愛を」の母子像の除幕式も同時に行われました。

### 12月2日

#### 県営布施川ダム用地取得で 調印

黒部市福平に建設が予定されている県営布施川治水ダムの用地取得交渉が成立し、この日県庁特別室で県と黒部市の地権者との間で協定書の調印式が行われました。

同治水ダムは、冠水を繰り返している布施川の下流域1千ヘクタールの洪水被害を防ぐためのもので、57年度に本格的に着工し、64年度には完成する見込みです。



布施川ダム用地取得で調印する中沖知事(中央) 地権者代表(左)と黒部市長(右)

### 12月4日

#### 新設高校用地取得で調印

新設が予定されている県立高校の

うち、富山市水橋地区の建設用地の取得交渉がまとまり、県と地権者との間で覚書の調印式が行われました。同地区は新設県立高校計画のなかでは初の用地取得で、開校は58年4月の予定になっています。

### 12月6日

#### 12月定例県議会を開会

本会議冒頭で、中沖知事はことし早々「活力ある富山県をつくる総合計画の策定に着手する」旨を表明しました。

このあと55年度一般会計補正予算案など計31案件が一括上程され、活発な論議が展開されました。なお、会期は12月16日までの11日間

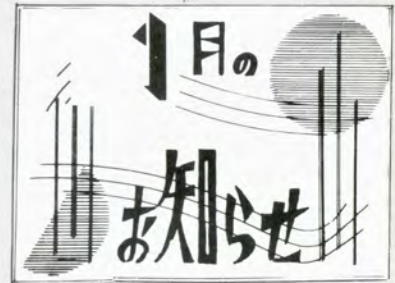


県議会本会議で所信を表明する中沖知事

### 12月9日

#### 北陸新幹線を優先着工

この日、自民党は交通部会長、国鉄基本問題調査会長、新幹線整備5線財源検討小委員会委員長からなる3者会談を開き、新幹線整備5線のうち北陸新幹線を含めた2線を優先着工することで合意しました。



#### ●自治医科大学入学者募集

募集人員/100人

試験日/第1次-1月25・26日 第2次-2月12・13日

試験科目/第1次-学力試験・人物考査 第2次-学力試験・人物考査・健康診断

応募期間/1月9日~16日

問合先/県庁厚生部医務課

☎富山31-4111

#### ●県立総合衛生学院入学者募集

募集人員/保健学科(25人)、助産学科(15人)、第1看護学科(100人)、第2看護学科(40人)

応募期間/1月10日~23日

問合先/総合衛生学院

☎富山24-6551・6562

#### ●県営 Gondras スキー場行事案内

1月15日/もちつき大会

Gondras スキー場の開設日を記念して、例年、ゲレンデ内でもちつき大会を行っています。

2月11日/びっくりスラローム大会

緩斜面にやさしい旗門や障害(リンボ、風船割り、トンネルなど)をセットし、これを通過します。ボーゲンで十分完走できます。

#### ●県営 Gondras スキー学校

レッスン時間/午前10時~12時 午後1時30分~3時30分(シーズン中毎日開校)

料金/一般・4時間2,000円、2時間1,200円

個人・4時間8,000円、2時間5,000円

団体・4時間12,000円、2時間7,000円

#### ●薬の相談窓口を開設

富山県薬剤師会では昨年11月20日、富山県薬事情報センターを開設しました。

ここでは、みなさんからの薬に関する相談や質問にお答えします。料金は無料ですからお気軽にご利用ください。

薬事情報センター

☎富山42-2721

受付/午後1時~3時

場所/富山市千蔵町1-4-1

富山県薬業会館406号室



# 藤戸

作・畑 正吉

在・高岡工芸高校青井記念美術館

畑正吉翁は高岡市の出身で、高岡工芸学校卒業後、東京美術学校彫刻科に学び、渡仏して特に薄肉彫刻を研究、帰朝後は東京高等工芸学校教授に招かれた。大阪造幣局顧問として貨幣のデザイン彫刻や日本の代表的メタルの原型を製作されたことでも著名である。文展帝展(日展)には無鑑査招待出品で多くの優作をのこされたが、昭和四十一年逝去され遺言によって二十余点の遺品の総てを母校高岡工芸高校に寄贈され、現在青井記念美術館に収納されている。

この「藤戸」もそのうちの一点で、謡曲「藤戸」に取材したレリーフ調の木彫で、武人盛綱像である。

謡曲能の曲趣によると、佐々木三郎盛綱は藤戸の先陳をした功によって、頼朝公より所領として備前の児島を賜り、春麗らかに波静まる今しも、勇ましく入部披露という得意の場面であらうか!

佐藤良正

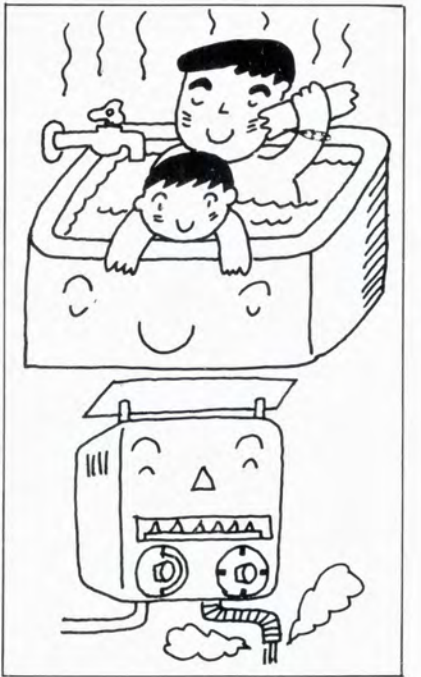
## シリーズ⑥

### 家庭の省エネルギー ここがポイント

いよいよ冬の盛りを迎え、日々の炊事などに使う水道の水も手を切るような冷たさになってきました。毎年この時期には瞬間湯わかし器や風呂など、ガスの使用量が増加しています。きょうは、この風呂と湯わかし器の上手な省エネ法を考えてみましょう。

## 風呂・瞬間湯沸し器

- ポイント①** 風呂は必要なだけ水を入れてわかしましょう。少量をわかつて水でうめるのは効率がよくありません。
- ポイント②** 冬は夕方に水をくみ、すぐにわかしましょう。(夏は昼間のうちにくむ方が効率がよくなります。)
- ポイント③** 風呂は、できるだけ家族がそろっている時にわかしましょう。冬場は一時間で二度も下がります。
- ポイント④** 湯わかし器は、使わないときには口火を消しましょう。長時間つけっぱなしで、お湯をわかせるほどの燃料をむだにしています。
- ポイント⑤** 湯は必要なだけとりましょう。流しっぱなしはエネルギーも水もむだにしています。



### 「省エネ」これだけお得です。

ふる 週に一度、家族そろって続けて入浴すると一回約十四円、一カ月約五十六円のとく。  
湯わかし器 一日五時間、口火のつけっぱなしをやめると、日約二十円、一カ月約六百円のとく。

### 新油田開発 可能性の低い賭け


これまで世界中で発見された油田は約三万といわれていますが、このうちの三十あまりの油田で全埋蔵量の五〇割を占めています。世界各地で油田の開発が続けられています。けられていますが、その発見率はわずか三割程度。つまり、莫大な投資をしても、その九七割は水の泡になってしまいうわ

## 1月テレビ広報

放送日	110万人のひろば 富山テレビ放送 (毎週日曜日午前9時~9時30分)
4日	新春対談
11日	喫茶店から生まれた雑誌「わすれな草」
18日	太郎冠者に魅せられて
25日	売薬の歴史

新春特別番組 立山丸同乗記(3日) 新春特別番組 農業青年のアメリカ生活(2日)

このほか新聞紙面広報として、毎月第一、三、五曜日に「県からのお知らせ」、毎月最終土曜日に「みんなの県政」(朝日、毎日)には、「県からのお知らせ」を掲載しています。



# この冬も 出動します

私の守備範囲は 2,066 km、みなさんの足を確保するため、真夜中からでも除雪に出動します。私が十分に働けるよう、夜間の路上駐車をやめていただくなど、みなさんのご協力をお願いします。